

作品説明

タイトル…仮題　メスガキちゃん達の **Maid** 喫茶ぷちきつすへようこそ！

くどすけべ無垢な女の子と密着接待えっちく

登場人物

朝日奈　芽衣（あさひな　めい）

5年生　まだまだ幼い。性の知識は偏ってる。経験少なめ。処女。可愛らしい少女。ひな一緒にメイド喫茶で働いています。ひなよりバイト歴は身近いです。まだ、耳かき耳舐めプレイまで。ひなより胸が小さいのがコンプレックス。今作で一線をこえるプレイをします

口癖…嬉しいと　むふー

七瀬　ひな（ななせ　ひな）

5年生　芽衣と同じ学校同じクラス。性の知識は芽衣ちゃんよりあります。処女

芽衣ちゃんより丁寧語を使用します、

#シーン1 いらっしゃいませー！

場面：店内

SE：からんからん

マイクの位置：芽衣 正面 50cm

芽衣「あ」

芽衣「お客様…じゃなかった。雑魚のおにーさん」

芽衣「Maid 喫茶。ぶちきつすへいらっしゃーい」

マイクの位置：ひな 正面 50cm

ひな「お客さん？ いらっしゃーい」

芽衣「空いてる席はそこだよー勝手に座ってねー」

ひな「忙しいから机は拭いていただけますかー？」

マイクの位置…芽衣 正面 30cm

芽衣「はい！ お冷おまたせ！」

芽衣「で おにーさん 誰指名するー？」

芽衣「え？ 私でいいの？」

芽衣「むふー。ご指名ありがと。私、朝比奈 芽衣でーす」

マイクの位置正面 30cm

対面に座ります

足をぶらんぶらんさせる芽衣

何もしない間を作ってください

…は無声の呼吸音を入れるイメージです

芽衣「ふんーふんーふんー…ん」

芽衣「ふんふん……ふーん」

芽衣「んー……………ん…………ふう」

芽衣「あれ？　どうしたの？　何もしないの？」

芽衣「何したらいいか解らないの？」

マイクの位置…よいしよで芽衣は右に移動します

芽衣「しょうがないなあ、よいしょ」

芽衣は左に座ります

マイクの位置…芽衣　右

芽衣「お兄ちゃんこのメニューから選んでー」

芽衣「おすすめ？　おすすめはー　んーと　んーと　ブレンド？」

芽衣「……………もう…はつきりしてー」

芽衣「はい！ 雑魚のおにーさんから一番安い弱わ弱わのブレンドーコーヒー入りましたー！」

マイクの位置…ひな 正面 50cm

ひな「弱わ弱わブレンドコーヒーはいりまーす！」

芽衣「で、どうするー？ 何してあそぶー？」

芽衣「自分で決められないのー？ むふー情けなーい」

マイクの位置…ひな 右前 30cm

ひな「はい、先にお冷やです」

芽衣「ひなちゃんありがとー」

芽衣「じゃあ、ポツキーゲームは？」

芽衣「むふー 赤くなったー」

芽衣「雑魚のくお兄ちゃんは一ポツキゲームしたくない？」

芽衣「ふふ、ようしそう来なくっちゃ」

マイクの位置…芽衣 正面 30cm から0cmに徐々に近づいてください。

芽衣「んー。んー。ぽりー。ぽりー。ぽりー。ぽりー。お兄ちゃん先に口はなしちゃったね。ふふ芽衣の勝ち」

芽衣「もう一回する？」

芽衣「ふーん、弱々なのにまたしちやうーんだー」

芽衣「女の子に負けたまんまじゃ恥ずかしいもんね」

芽衣「はい、もう一度」

芽衣「んー。んー。ぽりー。ぽりー。ぽりー。また芽衣の勝ち」

芽衣「もう、お兄ちゃん弱すぎ」

芽衣「じゃあ、じゃんけんゲームしよ」

芽衣「芽衣が負けたら何でもいうこと聞いてあげる」

芽衣「芽衣が買ったら、このストロベリージャンボパフェ注文してね」

芽衣「あ、ちなみに、ふふん。芽衣は今からパーを出します。パーを出すからね」

芽衣「いーい？ それじゃあじゃんけん ぽん！」

#シーン2 芽衣と雛の吐息たつぷりダブル耳舐め

ご機嫌な様子

芽衣「むふー パーを出すといったのに負けちゃうんだー？」

芽衣「そんなよわよわのお兄ちゃんには」

お兄さんから見て左に座ります

マイクの位置…芽衣 右 耳元

無声のささやき声

芽衣「お耳かみかみの罰をあたえちゃいまーす」

芽衣「いきなりだと痛いから最初に吐息をー はー はー はー はー はー」

芽衣「かみ…かみ…かみ…かみ…あむ…はむ…はむ…あむ」

芽衣「かみかみ…かみ…ちゅ」

芽衣「ん？　どうしたの？　くすぐったい？」

芽衣「だーめ罰なんだからー続けるよー　かみ…かみ…かみ…はむ…はむ…ちゅ」

ここから軽い耳舐めパートになります。

芽衣「ちゅ…ん…美味し。ふふ」

芽衣「お兄さん？もう一度じゃーんけーん」

芽衣「ふふ、今度はお兄さんの勝ち」

芽衣「ボーナスタイムです」

マイクの位置…芽衣　後ろを向きながら

芽衣「ひなちやーんちよつときてー」

マイクの位置…ひな 正面

ひな「はいはい。芽衣ちゃん呼んだー？」

マイクの位置…芽衣 右

芽衣「手伝って？」

マイクの位置…ひな 正面

ひな「ん？ 舐めてるの？ 芽衣ってお兄ちゃんの事もう気にいっちゃったの？」

芽衣「そ、そんなんじゃないし！」

ひな「ふーん？ でも芽衣ちゃんそんなにすぐにサービスしないよね？」

芽衣「こ、これはお仕置きだからーの！」

芽衣「あーむ。れうちゅう…ちうちう…ちゆる」

BGV: 芽衣 耳舐め

ひな「ふふ、解った」

ひな「お兄さん失礼しますね。 ひなと申します。 よろしくおねがいします」

ひなはお兄さんから見て右に座ります

陽菜マイク的位置…左 耳元

優しい耳舐め

ひな「それでは、最初は耳を温めますね。 はー はー はー はー 最初は
軽く…あーむ♡ あむあむ…ちゅちう…ちゅちう…ちゅ…ちゅ」

ひな「ちう…ちゅ…ちうちう…ちうちう…ちゅ…ちう」

ささやき声

ひな 「お兄さんこの店はじめてですよね？」

ひな 「いきなりお耳舐めのご褒美受けちゃうなんて ふー ふー」

ひな 「芽衣ちゃんのお気に入りさんになったんですね。ふふ」

ひな 「ちゅ…ちゅ…ちゅちゅていう…つちゅ…ちゅ…ちゅ…ちゅあむ…はーむ」

ひな 「奥までれえええ 差し込んで。れええええ ちゅちゅちゅ」

ひな 「ひだひだをなぞるようにーれっええええう」

ひな 「はあー はあー ふー ふふ。ちゅ ちゅ れう ちゅう」

BGV ひな 耳舐め

芽衣マイクの位置…右

優しい耳舐め

ささやき声

芽衣「はーむ…ちゅ…ちゅ…ちう…ちゅちう…ちゅう」

芽衣「これはボーナスタイムなんだから…かみかみ」

芽衣「勘違いしたら思いっきり噛んじゃうよ？」

芽衣「耳たぶ。あーむあーむ。溝のところもれーうれーう　ちゅ　ちう　ち
う」

たっぷり耳に吐息をかけてください

芽衣「はあー　はあー　はあー　はあー　ふー　ちゅ　あむ　あむ　れう
ちゅう」

BGV　芽衣　耳舐め

芽衣「ふは！　ふふーどうだった？」

ひな「満足しました？」

芽衣「んー？」

ひな「んー？ 満足してないのー」

芽衣「むー生意気…どうするー？」

ささやき声

芽衣「いまならVIP コース割引するんだけどなー」

芽衣「でも高いから無理かな…むー ざーんねん」

SE:財布からお金を出す音

ひな「わ」

芽衣「わ」

マイクの位置…芽衣 正面に移動しながら

芽衣「はい！ VIP ルームお一人様ご案内いたします！」

マイクの位置…ひな 正面に移動しながら

ひな「はいりまーす！」

#シーン3 お尻サンドイッチ

シーン：VIP ルーム。個室になります。

マイクの位置：芽衣 右前 50cm

マイクの位置：ひな 左前 50cm

芽衣「よいっしょー！ ふつかふかー」

ひな「ふつかふかだー よいっしょー！」

芽衣「あ、ひなちゃんそのクッキーとってー」

ひな「はーい、私も食べる。もぐもぐ」

芽衣「もぐもぐ。おいしー」

ひな「VIP ルームすげえね。ふふ」

マイクの位置：芽衣 右

ささやき声

はぁーは吐息

芽衣「はぁー…それじゃあお兄ちゃん…どうしますか」

マイクの位置…ひな左

ささやき声

ひな「どうしますか？」

耳に吐息

ひな「ここはねVIPルーム。だからね…ふふ、ちよつとはね」

ささやき声

ひな「えっちな事してもいいんですよ」

芽衣「お兄ちゃん、はいメニュー。どうする?」

芽衣「ん? これ? これでもいいの」

棒読みで

芽衣「お尻サンドイッチ」

ちよつと引いた様子で

芽衣「え？　これ注文しちゃうんだ…」

ひな「わ、お兄さん…変態」

芽衣「変態変態変態！」

ひな「そんなに食べたいの？　お尻サンドイッチ」

芽衣「べ、別のにしない？　お兄ちゃん」

ひな「ふふ駄目だよ芽衣ちゃん。注文は取り消せないんだよ」

芽衣「うう」

芽衣「うー！ 解った！」

マイクの位置…芽衣 右 後ろを向きながら

芽衣「じゃあ…はい」

ちよつとやけくぞ気味に

芽衣「はい！どうぞ！芽衣のお尻です！……何ってお尻サンドイッチ…」

ひな「ほら。芽衣ちゃんのパンツ脱がしてあげて？ じゃないと食べられないよ？ お尻サンドイッチふふ」

ひな「そうそう…スカートを脱がして…ふふ、可愛いめいちゃんのパンツが見えてきたね。ふふ、白くてピンクのリボンがついてて可愛いー」

マイクの位置…芽衣、右 後ろ向き

芽衣「ひなちゃん！ もう言わなくていいの！ ほ、ほら食べるんでしょ？ はやくしてよ！」

芽衣「あ… パンツに手が あ… あ… ぬがされて…」

ひな「わ、わ、お兄さん以外と大胆だー。いいの？ こんなちっちゃな女の子のパンツ脱がすなんて？」

ひな「ふふ、芽衣ちゃんの可愛らしいぷりんとしたお尻出ちゃったね。可愛いね。えっちだね」

芽衣「せ、説明しないで！ ひなちゃん！」

マイクの位置…ひな、左 後ろを向きながら

ひな「次はひなだね。はい、お兄ちゃん…脱がせて？」

マイクの位置…ひな、左 後ろ向き

ひな「あ…ん。ん… ふふ、どう？ ひなのパンツかわいい？ あ…やだー お尻じつとみすぎー♡」

芽衣「うう、お尻すーすーするよう」

ひな「お兄さん… ぬって？ テーブルの上のシロップ… 芽衣とひなのお尻に」

芽衣「あ… ううう…お尻…触ってる ん ん あ… きやはは…ぬるぬる つて…くすぐった…い！ お尻ヌルヌル」

ひな「お兄さんー ひなもー あん… ん♡ そう。美味しく食べられるようにお尻に塗って？ あ…ん♡ あん」

芽衣「そ、それじゃあいくよー」

ひな「せーの」

ささやき声

クールに

芽衣「お尻サンドイッチ」

ひな「お尻サンドイッチ」

芽衣「うう、お兄さんの顔にお尻ぴったりとくっつけちゃった」

ひな「ふふ、どう？ シロップでヌルヌルになった芽衣とひなのお尻に顔はさまれるの」

芽衣「ん…ん……注文したんだから…ちゃんと食べてよ？ お兄ちゃん」

ひな「ん ん♡ ふにふにのまだちっちゃなお尻、愉しんでねお兄さん」

芽衣「こうやって上下に……ふにふにふにふに ん ん」

ひな「ん、ん、まだ五年生のお尻の感触愉しんでね？ ん ん♡ ん ん♡ ん♡」

芽衣「あ！？ や！ はああん！ ん ん ん！ ん！」

ひな「あー お兄ちゃん……本当に芽衣ちゃんのお尻食べちゃったんだー」

芽衣「こ、こらあ♡ ああん♡ ああ♡ ん♡ ん♡ ん♡ ん♡ あ♡ こん

な五年生のお尻本気で顔つつこんでなめ回すなんて♡ あ♡ あは♡ あ

あ♡ あ♡」

ひな「ひゃん♡ 今度はひなのお尻も食べちゃうの？ あ♡ あ♡ ん♡

んふ♡ ん♡ JSのぷにぷにのお尻とシロップ美味しい？ あ……あん♡

こんな小さな女の子のお尻食べちゃって… ん ん ん ん」

芽衣「へ、変態変態変態♡ あ、ん んふ♡ お、音をたててる！ な、何

これ…変な感じ あ あは♡ あ」

ひな「美味しいね♡美味しいね♡芽衣ちゃんのぷりんとしたお尻♡ ひなも

食べてみたいかも…ひゃん♡ あ、もう こんどはこっち？ よくばりさー

ん♡」

芽衣「ひなちゃんのお尻に顔うずめちゃってる…わ、わ、ひなちゃんのお尻に塗られたシロップとお兄ちゃんの涎がまざってえっちい」

ひな「あは♡ 美味しい？ お兄さん。あ…あは…こんなちっちゃな女の子のお尻むしやぶりつくなんて、本当に変態さんなんだから…あ…は♡ は♡」

芽衣「ひう！ お、お兄ちゃん！ そこ！ お、お尻い！ お尻のあなあああ！ だめえええ！」

ひな「わ、そんなところまで食べちゃうの？ ふふ、すごい美味しそう♡ お風呂入っててよかったね芽衣ちゃん！」

芽衣「そんな問題じゃ…ひううう！ すっちやだめえ！ そこからは何にも出ないのお兄ちゃん！ あ！ あ！ ああああ！ あ！ はあ♡」

ひな「きゃん！ あは♡ お兄さんこっちも？ ふふいーよ。ああああ♡ くすぐった…んふ♡ こんなところ舐められたことな♡ あああ♡」

ひな「ひう！そこは！アヌスう！うう！変態 変態 変態！」

芽衣「うう、ひなちゃんのお尻食べながら芽衣のお尻も触ってる…お兄ちゃん絶対浮気するタイプだよ… あ ん ん ん ふ」

芽衣「はー
はー
はあー」

ひな「はーはーはー」

ひな「え？」

芽衣「ひなちゃんとお尻寄せるの」

ひな「ふふ芽衣ちゃんとお尻ひつついちゃった」

芽衣「も、もう……何だか変な感じ」

ひな「ひゃん！」

芽衣「ひゃん！」

ひな「あ… あ…ん♡ 同時に食べちゃうんだ♡ 女の子のお尻に挟まれたまま同時に食べちゃうんだ あは♡ あ♡」

芽衣「ひう！ ひな…ちゃんとお尻同時にたべられちゃってる…あ♡ あ♡ん♡ 確かにお尻サンドイッチだけどお… ふふう！ ん！ ん！」

ひな「お尻の穴まで美味しいのお兄さん？ いいよ♡ 食べて？ すって♡ ああ♡ は あ あ♡」

芽衣「あああ！ 芽衣もきたああ！ そ、そんなとこ舐めていいの？ お、美味しいなんて嘘だよう！ ん！ ん！ ん！」

ひな「ああ ちょっとまって…おにいさん！ これ あは！ くすぐったくて立ってられない！」

芽衣「あああ 舌があ！ 舌があ なかに！はああ！ やだややだ あああ おおおお 奥までええええ」

ひな「お、おしりでいかされちゃう！　だめだめ…もう　もう　おしまいだから！！！」

芽衣「おしまいです！」

ひな「はー　はー　はー」

芽衣「はー　はー　はー」

芽衣「ううー　このお兄ちゃん…ドスケベ…」

マイクの位置…ひな　左　0cm

ひな「へーんたい」

マイクの位置…芽衣　右　0cm

芽衣「へーんたい」

#シーン4 ダブルうそ喘ぎ声嬌、手こき

シーン：VIP ルーム。個室になります。

マイクの位置：芽衣 後ろを向きながら 右前

芽衣「うう、おしりべたべたー」

マイクの位置：ひな 後ろを向きながら 左前

ひな「お兄さんふいてー」

芽衣「う：ん ん。えへへー。何だか変な感じー。ちゃんと奇麗に拭いてね：あん」

ひな「ん、もつとぎゅって拭きとって？ ん： ん。割れ目の奥も： んふ ん」

芽衣「ふう：パンツ履かなきやよいしよよいしよつと」

マイクの位置：芽衣 右 10cm

芽衣「それじゃあ…次はー」

SE:メニューをぱらぱらと開く音

芽衣「ひなちゃん？ これ…どうかな？」

マイクの位置…ひな 左 10cm

ひな「嘘あえぎ耐久ゲーム？ おもしろそー」

芽衣「左右から私とひながえっちな声を出すから」

ひな「お兄さんが我慢出来たらお兄さんの勝ちで」

芽衣「我慢できなくなったら…芽衣とひなの勝ちね。やる？」

芽衣「むふー よーし！」

ひな「我慢できたらよしよししてあげるー」

芽衣「でも雑魚のお兄ちゃんはすーぐ」

耳元でささやき声

えっと　は自信なさげに。　ひなちゃんに習った台詞なのでおずおずと発言

芽衣「えっと…ぴゅっぴゅしちゃうよね？」

芽衣「うふふふふふ」

ひな「うふふふふふ」

激しい嬌声ではなく、ゆっくりとした甘ったるい吐息が漏れる嬌声でお願い
いたします

2秒に一回ぐらいのペースを想定しています

芽衣「あ…はあん」

ひな「はあ…あん」

芽衣「はあ…あん♡ あん…はあ…はあ…あ…んはあん…はん」

ひな「あ…はあ…はあ…はあ…あん…はあ…あ…はあ…あ…はあ…」

BGV：芽衣 嘘喘ぎ ひな 嘘喘ぎ

芽衣「いっちや駄目だよ？おにいちちゃん…はあ…はあ…はあ…」

ひな「いってもいいよお兄さん…はあ…はあ…あ…はあ…んはあ」

芽衣「はあ…はあ♡ あ…あ…ああ…あ…あ…はあ…あ」

芽衣「ん…ん…はあ…あ…ん…ん…んざー♡ざー♡ん…ん…はあ…ん」

ひな「ん…ん…あはあ♡ ん…はあ…あ…あん…はあ…あ…はあ…ん」

芽衣「あ♡ あ♡ ああん…はあ♡ あ…はん♡ はあ♡ はあん♡ ん♡

ん♡」

芽衣「ん…触るのは駄目。その時点でお兄ちゃんの負け…ん…はあ…あ…あ…
はあ…あ…あ」

ひな「あ♡ はあ♡ ああん…はあ♡ あ…はん♡ はあ♡ はあん♡ ん♡
ん♡」

ひな「ふー… ふふ。こんな小さな女の子の吐息とエッチな声なんかじゃ
感じないよね？ 大人なんだから♡」

下半身をさする芽衣

芽衣「んー…ふふ」

ひな「あれ？ 芽衣？」

芽衣「ん…。ズボンのうえから…ひなちゃんに教わったように…」

芽衣「ん…ん…さす…さす…ん…さす…ん…ん…はあ…はあ…あ♡」

無声のささやき声

ひな「芽衣ちゃんにおちんちんさんズボンの上からこすられちゃってるね」

ひな「ひーなーは お兄さんのおっぱいを服の上から さすー さすー ん
♡ ん♡」

ひな「あ…乳首発見♡ はあ はあ ん♡ さすー さすー さすー さす
ー」

芽衣「えっと…あ…堅いところ…みつけた…この先っぽをー人差し指と中指
でおしつぶすんだよね。ぐりぐりぐり。ぐーりぐりぐり。わわ お兄ちゃ
んかわいい…お顔もつと見せて？」

ささやき声

ひな「うそ喘ぎもつと頑張っちゃうね？」

ひな「あ…はあん…お兄ちゃん…そこ…ぐりぐりしちや…いやん… あはあ…
あん…あん…ん」

ひな「あん♡ ん♡ ふふどうしたの？ 触ってない？ 違うの触っている事になってるの♡ あ♡ はあ♡」

ひな「ひなのおまた…指で…ん…ふれちゃ…ん…指先で…すってわれめなぞっ
ちゃ…あん…あ♡」

ひな「あ…お兄ちゃん…お兄ちゃん…気持ちいいよ…気持ちいいよ…はあ…ん…
ん…あ…あん♡」

ひな「ひなね割れ目すっすってするの好きなの…ままに怒られちゃうから隠れて何時もしてるの。ん…ん…ん…ん」

ひな「だから今お兄さんにしてもらってるの凄く嬉しいんですよ！ ん！

ん♡ はああ♡」

ひな「駄目ですよ？ 捕まっちゃいますよ？ あ…あ♡ こんな小さな女の子のおまたいじったら」

ひな「ん…ん♡ お・ん・な・の・こ、に！こんなえつちな事教えたら駄目
なんだから？ ん♡ あはあ♡ こんな事教えたら…ん♡ん♡ 女の子はみ
んなえつちになつちやうんだからあ♡ あ♡ あ♡」

芽衣「ぐりぐりぐり…ん…はあ…はあ…あ…ん…ん」

無声のささやき声

芽衣「変態…変態…変態」

芽衣「女の子にこんな事させていいの？ はあ はあ はあ 駄目…だよ
ね？ あ…ん…あ…ん♡」

芽衣「大人ならこんな事しちや駄目って女の子に注意しなきゃ…駄目なんだ
よ？ ん…ん…ん…ん」

おちんちんは言いづらく発音

芽衣「それなのに…おちん…こほん…おちんちん…触らせたまま抵抗しないの？ えっちえっちえっちえっち！」

無声のささやき声

たっぷりの吐息

芽衣「はぁ はぁ はぁ 最低…最低…最低」

芽衣「そんな最低のお兄ちゃんは一ぐりぐりぐりぐり…こう こう こう

こう！ はぁ…はぁ…はぁ」

芽衣「ん…ん…♡ ぐにぐにぐにぐにい あ…あ♡ ん…ん…あ♡ ん…ん」

芽衣「わ…わ…押し返してくるんだ…これ… あ♡ ん…ん…ん♡ あ♡ あ♡

♡ ぐにぐにぐにぐにい あ あ」

ひな「ふふ手強いんだーじゃあ私もー」

ささやき声

ひな「おちんちんさんズボンの上からすりすりしてあげるね」

ひな「すりすりすりすり…ん♡ あ♡ あ♡ ん♡」

ひな「芽衣ちゃんが先っぽの方ぐにぐにしているから、私はこの棒の所をさすさすさす♡」

ひな「ん…ん♡ あは♡ さすさすさす♡ ん♡ ん♡」

芽衣「あ♡ ほら♡ いっちやえいっちやえ♡ ズボンの中で出しちやえ♡」

ささやき声

芽衣「あのねひなちゃんから教わったの。先っぽ指でつまんでもいいんだよね？」

芽衣「えっとこの堅いところを指で……んむずかしい……あ、つまめた。それじやあ……ぎゅぎゅぎゅぎゅー！。わ、わ、凄い反応。よしがんばるーぎゅーぎゅーぎゅーぎゅー あ♡ あ♡ ん♡」

芽衣「ぐりぐりぐりぐり…あ…あ…はあ…あ」

耳に吐息

ひな「ふー」

ひな「芽衣ちゃんが本気出してきたのでひなも本気出しまーす」

ひな「ちよつと強めにさすさすしてあげるね？」

ひな「さすさすさすさす。あ♡ あ♡ ああ♡ さすさすさす」

声を震わせながら

ひな「おゝにい…さん…気ゝ持ちよすぎるよおおお はあああ♡」

ひな「ひなのおまたそんなにこすこすしちゃだめえ♡ あ♡ あ♡ あ♡
あ♡」

フィニッシュに向けて二人で協力します

芽衣「はあー はあー はあー はあー！ ぎゅ！ ぎゅ！ ぎゅ！ ぎゅ！
ぎゅ！ ぐいぐいぐいぐい あ♡ あ♡ あ♡ あ♡ あ♡ あ♡」

ひな「もっとひなのおまた摩って？♡ 擦って？ あ♡ あ♡ あはあ♡
あ♡ あ♡」

芽衣「いっちゃえいっちゃえいっちゃえいっちゃえ♡」

ひな「まだ言っちゃ駄目だよ？ いっちゃ駄目だからね？」

芽衣「いく時ね？ 私も…いったふりする。練習したんだから」

ひな「ひなね？ もういっちゃいそうなの。あ♡ あ♡ あ♡ あ♡ ああ
ん！」

芽衣「あ あ あ は あ♡ あ♡ あ♡ あ♡ はあ♡ はあ♡ い
くいくいくいつちやあああう!! あはあああ♡」

ひな「ひなもいくいくいくう♡ いっちやうお兄ちゃんお兄ちゃんーん
はああああ♡ あ♡ あ♡ ああ♡ あ…」

芽衣「はあ…はあ…はー はー えっと芽衣達の勝ち？」

ひな「はあはあはあ…やったね芽衣ちゃん。ぶい!」

芽衣「ん? どうしたの?」

ひな「あ…そっか…」

芽衣「ん?」

ひな「ゴムつけるの忘れてた。お兄ちゃんのパンツの中大変だ!」

芽衣「あ」

芽衣 「ごめんなさいーい」

ひな 「ごめんなさいーい」

#シーン5 お風呂でべろちゅーてこぎ

場面：VIP ルーム

マイクの位置：芽衣 左 前 30cm

マイクの位置：ひな 右 前 30cm

芽衣「お兄ちゃんパンツ気持ち悪い？ 気持ち悪いよね」

ひな「んー じゃあお風呂はいろつか」

芽衣「お兄ちゃん？ 奇麗奇麗にしてあげるー」

ひな「じゃあぬごつか、んっしょ んっしょ んっしょゝんっしょ」

芽衣「芽衣も脱ぐー んっしょゝんっしょ んっしょ んっしょ」

ひな「どうしたの？ お兄さん照れてるの？ かーわいい」

芽衣「あれだけお尻好き勝手しておいてゝへーんなの」

芽衣「あ…ひなちゃん…またおっぱいおつきくなった？」

ひな「へへー ブラも新しいのにかえたのー いいでしょーこれ」

芽衣「いいなー。芽衣もおっぱいはやく大きくなりたい…お兄ちゃんもおつき方がいいよね？」

ひな「へへー 小さいおっぱいも好きそうだよ、このお兄さん」

芽衣「うえ？ そうなの？ 小さい方がいいの？」

マイクの位置…芽衣 左 0cm

マイクの位置…ひな 右 0cm

芽衣「むふー お兄ちゃんろりこんさん？」

ひな「えっちだね…ふふ。ろりこんさん」

ささやき声

マイクの位置…芽衣 左 前 30cm

芽衣「ふふ 靴下も、んしょんしょ、よし全部ぬーげた」

マイクの位置…ひな 右 前 30cm

ひな「ん どうかなお兄さん」

芽衣「生まれたまんまの女の子の身体…」

ひな「私たちはこの姿でママのお腹から生まれてきたの」

芽衣「こんなちっちゃな女の子の身体を見てるー」

ひな「一緒にお風呂に入るだけで我慢できる？」

芽衣「お尻みたいにおっぱいも吸いたい？」

ひな「ぶにぶにの身体をもっと触りたいの？」

芽衣「それとも、あんなことや」

ひな「こんなことまでしちやいたいの？」

マイクの位置…芽衣 左 0cm

マイクの位置…ひな 右 0cm

ささやき声

芽衣「エッチ ふー」

ひな「エッチ ふー」

マイクの位置…芽衣 左 前 30cm

マイクの位置…ひな 右 前 30cm

ひな「ふふ、お風呂入ろ。ほーら ひっぱってあげます ほーら」

芽衣「もう……芽衣も恥ずかしいんだから早くはいろ！」

場面…お風呂

SE

走る音

お風呂が開く音

シャワー音

石鹸を出す音

マイクの位置…ひな 右前 距離お任せ

ひな「お兄さんー ひなの身体洗ってくれます？ あん♡ ふふ ぬるぬるー」

マイクの位置…芽衣 左前 距離お任せ

芽衣「あ、いいなーひなちゃん。ねえ、お兄ちゃんわたしもー あん」

ひな「ふふ、ん…そう タオルで優しく…あん ん ふふ。首筋から… んふ」

芽衣「あ… んふ。気持ちいいーん。きやはは くすぐったい ふふ。
んん」

ひな「そう、柔らかいんだから優しくお願いします。ん んふ ん」

芽衣「んー 背中も…ん きもちいい…」

ひな「ねーえ、お兄さん？」

ひな「タオルとつちやいませんか？」

芽衣「…うん。芽衣達だけ何も着てないなんてずるいもんね」

ひな「ねえほら」

芽衣「ねーえねーえ？」

マイクの位置…ひな 右 0cm

マイクの位置…芽衣 左 0cm

ささやきこえ

芽衣「おちんちんさん洗ってあげる」

ひな「おちんちんさん洗ってあげる」

マイクの位置…ひな 右前 0cm

マイクの位置…芽衣 左前 0cm

芽衣「お兄さんに身体くっつけちゃった。ふふ」

ひな「どうですか？ 私たちのまだ未熟なふにふにの身体ー おっぱいやー
お尻の感触ー」

芽衣「大人なんだからこんなちっさいおっぱいや乳首おしつけても ぐーり
ぐーり ん ん」

ひな「なんともないですよ？ じゃあ…とっちゃいます…ふふ」

芽衣「ごく……むふー タオルを下に……するするするするー」

つばを飲むおと

ひな「わ……ごく」

芽衣「わ、わ。ひなちゃんに見せてもらった動画と……全然……ちがう……ん」

ひな「すごいねおっきいね」

芽衣「変な形だけど……かつこいいかも」

芽衣「じゃあ……石鹼さんを」

ひな「あ、芽衣ちゃん石鹼は染みるんだって……こっちのベビー用にしよ？」

芽衣「そうなの？ わかった。しゅこしゅこ あわあわ」

ささやき声

芽衣「それじゃあ洗うね」

ささやき声

ひな「それじゃあ洗うね」

芽衣「えっと…まずは指で直接…わ、先っぽぱんぱん…ぐみみたい」

ひな「本当だ…ぐにーぐにーぐにーぐにーえ？ お兄さん大丈夫？

苦しそうな顔してる」

芽衣「やめようか？ え？ もっとしてほしいの？ わかった ぐにーぐ

にーぐにーぐにー」

ひな「ここくびれてるんだーへー、つまんじゃえ。ふふ。またお兄さんの

け反っちゃってます」

芽衣「私たちの指ひっかけるの面白いかも」

ひな「先っぽを手のひらで…ぐにぐにぐにぐにー」

芽衣「私もーぐにぐにぐにー ふふ」

ひな「二人で手を合わせてぐにぐにー ぐにぐにー」

芽衣「ん ん ん ん 凄い弾力。ん ん ん ん」

マイクの位置…ひな 右 0cm

ひな「このままお耳舐めてあげるね…あーむ…ちゅ…んちう ちう ちゅ」

マイクの位置…ひな 芽衣 0cm

芽衣「私も舐めるー。あーむちゅ…ちう ちゅ…ちゅ ちう ちゅ」

ひな「先っぽをゆびでこしよーこしよーこしよーこしよー」

芽衣「私は根元の方をー うっわ。硬い…木の棒みたい…こしよー こしよ

ー こしよー こしよー」

ひな「すごいね…すごいね…ひなの手、火傷しそう…これがおちんちんだ」

芽衣「んしょ んしょ んしょ こうやってぎゅって握って…、芽衣の小さなお指がおにいちちゃんのおちんちんに絡みついちやったよ」

ひな「ふふ、じゃあ私も指を絡ませてぎゅー。芽衣ちゃんとお手々つないだままお兄さんのおちんちん握っちゃった」

興奮しながら

芽衣「はあ…はあ…はあ…はあ…ここからどうするの？」

ひな「確かこうやって上下にー しーこー しーこー ってするんだよ」

芽衣「ん… しーこー しーこー しーこー しーこー あ、本当だ。お兄ちゃんがぴくぴくしてた」

ひな「耳元でー しーこー しーこー しーこー しーこー しーこー」

芽衣「私もー しーこー しーこー しーこー しーこー」

ひな「あーむ。れうちゅ…ちう…ちゅ ちう ちう しーこー しーこー
しーこー しーこー」

芽衣「れう…ちう ちう んーちゅ しーこー しーこー しーこー しー
こー」

ひな「気持ちいい？ お兄さん」

芽衣「こんなに頑張ってるんだから気持ちいいよね？ お兄ちゃん」

ひな「はーむちゅ…ちう ちう ちゅ ちう んーちゅ」

芽衣「はーむちう…つゆ ちゅ ちゅ れう ちゅ ちう」

ひな「ぎゅって強めに握ったりー」

芽衣「また先っぽの方をさわさわしたりー」

ひな「女の子におちんちんおもちゃにされていいの？」

芽衣「ん　ん　お兄ちゃん大人なのにー　おちんちん触られると抵抗で
きなつちゃうんだー」

ひな「ん　ん　ん　ふ　ん　ちゅ　ちゅ　ん　ん　ふ　ん　ん　ちゅ　ん
ん　ん　ん　しよ　ん　しよ」

芽衣「ん　ん　ん　ん　ん　ふ　ん　ん　ちゅ　ん　ん　ちゅ　ん　ちう　ん
ー　ちゅ」

「秒に」回ぐらいの　しこです

ひな「しこしこしこしこしこしこしこしこしこしこし」

芽衣「しこしこしこしこしこしこしこしこしこしこし」

マイクの位置…ひな　キスの位置に移動しながら

マイクの位置…芽衣　左　0cm　のまま

ひな「ふふ、ねえお兄さん。こっちむいてー　ちゅーしよー？　んーー
ちゅ」

芽衣「ええ？　ひなちゃん…ちゅーしてるう！」

ひな「唇と唇で擦るキス…ふふ…ちゅ　ちう　ちゅ　ちう　ちゅ　ちゅ　ちゅ」

芽衣「ひ、ひなちゃん…わ　わ　大人だ…」

ひな「おちんちんさんしこしこしながら　んーちゅ　ちう　ちゅ　ちう　芽
衣ちゃんしこしこさぼっちゃだーめ」

芽衣「う　うん　しこ　しこ　しこ　しこ」

ひな「ちゅ　んふ♡ちゅ　ちう　ちう　ちゅー　ちう　ちゅ　ちう　ちゅ
ちう」

ひな「はー　はー　はー　はー　ねーえー、　舌出して　ん♡　れーー♡
ちう　ちゅ　ちう♡」

芽衣「わ、わ、舌舐めてる！？ え？ え？ 何それ 何それ！？」

ひな「ふふ。大人のキスだよ芽衣ちゃん。へう ちう ちゆる ちうれー
う ちう ちう んーちう♡」

マイクの位置…芽衣 キスの位置に移動しながら 左3cmにずらす
マイクの位置…ひな キスの位置 右3dmにずらす

芽衣「ううう… 芽衣も 芽衣も… 芽衣もするんだから！ えーい！ 芽
衣の初めてのちゅーあげちやいます！ ちゅ ちうれう！ ちうちうちゅー
う！」

ひな「わ、芽衣ちゃんだったーん。ふふ、ω人でべろちゅーしちやお？ れ
ーうちう ちう♡ ちゅ ちう れう れう ちゅーつ ちう」

芽衣「へう！ 何これ 何これすごい！ ちう ちう！ れう へう！ ち
う ちう ちう んーちゅ ちう ちう」

震え声で

芽衣「頭の中ぴりぴりするよう…れーう　ちう　ちう！　ちゆ　ちう　ちう
んーつ　ちう」

ひな「芽衣ちゃん本当にお兄さんのこと気に入っちゃったんだね。ふふ。ち
ゆーうれーうちう　ちゆ　ちう　ちゆう」

芽衣「そうなの？　そうなのかな…ひなちゃん…　れう…んーちゆ　あむ　は
む　ちう　ちゆう」

ひな「だからこんなに気持ちいいの♡　ちう　ちゆーちう　れーう　ちゆ
ちう　ちゆう　ちう　ちゆーう　ちう」

芽衣「ひなちゃんの舌も柔らかい…ちゆう　ちう　ちゆう　ちう　ちゆう
ん　ちゆ　んーちゆ」

ひな「芽衣ちゃんの舌もかわいい♡　ちゆ…ちう　ちゆ　ちう　ちゆう　ち
う　んーちゆ　ちゆ」

芽衣「ぷは！　息するの忘れてた　はー　はー　はー　はー」

マイクの位置…芽衣 左 ocm に移動

芽衣「芽衣、お耳に戻るー。ちゅ ちう ちう ちう しこしこしこしこ」

マイクの位置…ひな キスの位置

ひな「ふふ、じゃあひなはちゅーしたまま。ん ん ん ん しこしこしこしこ」

芽衣「わ、すごい！ さつきより熱い ん ん ん ん」

ひな「おつきいね はああ かつこいいね ん ん ん ん ふう」

芽衣「ねえ はあ ひなちゃん…」

ひな「なあに？ はあ ちう ちゅ 芽衣ちゃん」

芽衣「この後おちんちんどうなっぴゅっぴゅっぴゅっなるの？？」

ひな「ふふ、ずっとやってたらわかるよ ちゅ ちう ちう」

芽衣「そうなんだ？ むふーがんばる。先っぽぐにぐに 強めに握ってゝ
きゅぽきゅぽ きゅぽきゅぽ」

ひな「わ、ひなちゃん。それえっぐい。お兄さん耐えられないかも」

芽衣「え？ やめた方がいい？」

ひな「ふふ、違うよもつとしてほしいんだよね」

芽衣「むふー。よし、ぎゅぽぎゅぽぎゅぽぎゅぽ しこしこしこしこ」

芽衣「？ 何だかさつきより塗る塗りしてきた……変なの。ぎゅぎゅぎゅぎゅ
ゆしこしこしこしこ」

ひな「ふふ、私は根元の方をしこしこしこしこ ちう ちゆ ちう ちゆ
はーむ♡」

ひな「ん？ れーう♡ ふふ。我慢できないの？ ちゆ お兄さん」

芽衣 「でちゃうの？ 見せてください。出してー 出してー？」

一秒に2回ぐらいのしこです

ひな「芽衣ちゃん私のまねして？　こうやってぎゅってにぎって早めにし
こしこしこしこしこしこしこしこしこし」

芽衣「そんなにはやくやって大丈夫？」

ひな「ん 大丈夫だから ひなちゃんもいっしょに……」

芽衣「う、うん しこしこしこしこしこしこしこしこし」

興奮しながら鼻息が荒いイメージです

ひな 「んふー ふー しこしこしこしこしこしこしこしこし
ん ちゅ ちう ちゅ ちう ちゅ♡ ん ふう♡ ん ん ん ん」

芽衣「しししししししししししししししししししししししんんん！んんん！」

ひな「しこしこしこしこしこしこしこしこし」

芽衣「しこしこしこしこしこしこしこしこし」

ひな「いっちゃえ！ お兄さん！ ちゅ ちゅ ちゅ んふ！ ちゅ ちゅ
う！ ん ん ん ん！ ん！ ん！ ん！」

芽衣「いってお兄ちゃん！ ん！ ん！ ん！ ん！ ん！ ん！」

射精

マイクの位置…芽衣 左 前 びっくりして30cmに移動

芽衣「え？ わ！ わああ！ で、でたあ！」

マイクの位置…ひな キスの位置

ひな「芽衣ちゃん離しちゃだめー ん ん ん♡ ちゅ ちゅ！ 最後まで
しこしこしこしこし」

マイクの位置…芽衣 左前 10cm 下を向きながら

芽衣「こ、こう？ び、びくんびくんしてるよ… しこしこしこわ、
また跳ねたあ！」

ひな「ん ん ん ふ♡ しこ しこ しこ ふー はー ふー
はー」

芽衣「あ… びくんびくん…とまった はー はー はー。え、え、
なにこれ？ 白いのでてる！ わ！ ネバネバしてるー」

マイクの位置…ひな 左前 10cm

ひな「芽衣ちゃんこれがせーしだよ」

マイクの位置…芽衣 顔を上げる

芽衣「え？ え？ これがそうなの？ 直接見るのはじめて わー わー
あ！ 赤ちゃん出来ちゃう！？」

ひな「ふふ、中じゃないから大丈夫だよ…それにきてないでしょ？」

芽衣「きてないって？」

ひな「解らなかったらいいの。ふふ」

芽衣「ふーん…すんすん すんすん、ぐえ、変な匂い」

ひな「すんすん すんすん。わ、本当だー 変な匂い」

芽衣「うう…せーし身体につけられちゃった…」

ひな「わざとかけたんでしょ？お兄さん」

マイクの位置…芽衣 右 0cm

ささやき声

芽衣「へんたーい」

マイクの位置…ひな 左 0cm

ささやき声

ひな「へんたーい」

マイクの位置…ひな 左前 10cm

ひな「芽衣ちゃんこうたーい」

マイクの位置…芽衣 右前 10cm

芽衣「え？」

ひな「こんどは芽衣ちゃんがちゅーしながら、してみて」

芽衣「ええー でもお兄ちゃんのちっちゃくなっちゃったよ？」

ひな「大丈夫ー 芽衣ちゃんならすぐおっきくできるよ」

マイクの位置…芽衣 キスの位置に移動しながら

芽衣「う、うん。じゃあお兄ちゃん、芽衣…ちっちゃいからお膝の上にまたがっちゃうね。よいしょ あーんちゅ♡」

マイクの位置…ひな 右 Ocm に移動しながら

ひな「ひなはー こっちー おみさんにーいどーうつと。あーむちゅ♡」

芽衣「んーちゅ ちう ちゅ ん ちゅ んーちゅ ちう ちゅ」

ひな「ふー 奥まで舌を差し入れてあげるね。れーうちう ちゅ ちうちうれう」

芽衣「ん ちゅ。芽衣キス好き…大好き。お兄ちゃんとのキス…ちう ちゅ ちう ちゅ♡」

ひな「芽衣ちゃんがめろめろ。すごーい ちう ちゅ ちう ちゅ ちう」

芽衣「ん…!?!? わ、 本当だ… おちんちんさん、 さわさわしてたらおつきくなってきた」

ひな「ふふ、 だから言ったでしょ? お兄ちゃんも芽衣ちゃんの事大好きなんだよ」

芽衣「本当? お兄ちゃん…芽衣のこと好き? 芽衣は大好き…ちゅ ちゅ
れう ちゅ。ん ん どうしよう。嬉しい…涙が… あ… ちゅ ちゅ ちゅ
ちう」

ひな「芽衣ちゃん泣かせたら駄目だよ? ふふ」

芽衣「んーちゅ ちう ちゅ ちう はああー おちんちんぎゅつとするたびお兄ちゃんがぴくんぴくんするの唇で分かる…ちゅ ちう ちゅ」

ひな「はーむ ちゅ ちう ちゅ 芽衣ちゃんを全身で感じながらのべろちゅーてこき楽しんでね♡ はーむちうちゅ ちう♡」

芽衣「ねーえひなちゃん…さっきの」

ささやき声

ひな「おにいさん…人でもたべろちゅーしよ?♡」

マイクの位置…芽衣 キスの位置に移動しながら 左3cmにずらす

マイクの位置…ひな キスの位置 右3dmにずらす

芽衣「へう…ちう れう ちゅ んーちゅ ちう ちゅ」

ひな「れう れう れう ちう ちゅ ちう」

芽衣「お兄ちゃんと陽菜ちゃんの舌…れうゅちう んー 気持ちいい」

ひな「んふ♡ 気持ちいいね♡ちゅ ちう んーちゅ ちう」

芽衣「しこしこしこ れうれう ちゅ ちゅ ちう ちゅ♡」

ひな「しこしこしこ れう れえ ちゅ ちう ちゅ んーちゅ」

マイクの位置…芽衣 左0cm

芽衣「ぷはー！ はあ！ はあ！ はあ！ わ、またお射精… おてての
でびくんびくん跳ねてかわいい♡」

めい「可愛いね 可愛いね♡ 絞っちゃえ♡ ぎゅ ぎゅ ぎゅ ぎゅー
ー あは！ また出た♡」

芽衣「はーはーはー。 はーはーはー うー もう芽衣だめ… 死んじや
う…」

ひな「んふー♡ 芽衣ちゃんはいーい ペっとぼとるー」

芽衣「ありがとー こくこくんつくつく ぷはー！」

ひな「ひなもー こくこくこく ん ん」

芽衣「ふー よーし！ 復活！ 次のサービス頑張りますね！」

ひな「お兄さん？ まだまだできるよね？」

#シーン6 お風呂でおっぱいプリンアラモード

マイクの位置：芽衣 右前 30cm

マイクの位置：ひな 左前 30cm

芽衣「お兄ちゃん汗びっしょり」

ひな「んー ちよつと先に頭洗うー？」

マイクの位置：芽衣 右 10cm

芽衣「ひなちゃん しゃんぷー」

SE：シャンプーを出す音

マイクの位置：ひな 左 10cm

ひな「んしょんしょ。 しゃわしゃわー」

SE：シャワーの音

SE:シャンプーの音

芽衣「わしゃわしゃー わしゃわしゃー」

ひな「わしゃわしゃー わしゃわしゃー」

芽衣「痒いところないですかー えへへ これ一回、いってみたかったんだ」

ひな「うふふ。こうやって おっぱいをくつつけてー 誘惑しちゃう」

芽衣「あ、だめだよー 頭洗うんだよー」

ひな「はい わしゃわしゃー わしゃわしゃー」

芽衣「ごっし ごっし ごっし ごっし」

ひな「そういえば芽衣ちゃん、あれどうなったの？」

芽衣「え？ あ お手紙？ わしゃわしゃ わしゃわしゃ」

ひな「そうそう、結構かっこいい子だったんじゃないの？ わしやわしやわしやわしや」

芽衣「うー。断っちゃった。あいつ意地悪だもん」

ひな「えーもったいないーい イケメンなのにー わしやわしや わしやわしや」

芽衣「ひなちゃんはどうなのー？ わしやわしや わしやわしや」

ひな「んー 同じクラスの子からこの前、好きっていわれたんだけど わしやわしや」

芽衣「え！ それでそれで！？ わっしやわっしや わっしやわっしや」

ひな「子供過ぎて だめー 付き合うなら年上の人がいいなー わしやわしやわしやわしや」

芽衣「わ 大人ー わしやわしや わしやわしや」

ひな「というわけでお兄さん。私なんてどうですかー？　小さい女の子とお付き合い興味ありませんかー？　くすくす」

芽衣「あーひなちゃんずるいー　そろそろ流すねー」

SE:シャワーの音

ひな「うん。しゃわー　しゃわしゃわしゃわー」

芽衣「ひなちゃん、次どうするー？」

ひな「んー　あれはどうかかな？　芽衣ちゃん耳かして」

芽衣「ふんふん…え　う、うん、いいよ」

芽衣「すーはー　すーはー　おにいちゃん」

マイクの位置…芽衣　右　0cm

マイクの位置…ひな　左　0cm

ささやき声

芽衣「おっぱい吸いたくないですか？」

ひな「おっぱい吸いたくないですか？」

マイクの位置…芽衣 右前 10cm

マイクの位置…ひな 左前 10cm

芽衣「おっぱいプリンアラモードというサービスなんだって」

ひな「んふー 女の子のおっぱい私でふたつ、芽衣ちゃんでもふたつ。よつつ
食べ方だーい」

芽衣「ちっちゃいけど食べたい？」

ひな「食べたいよね？ 芽衣ちゃんのちっさいけどそれでも女の子だからぷ
っくりと膨らんだおっぱい」

芽衣「ひなちゃんのぷにぷにの柔らかおっぱい吸いたいの？」

ひな「芽衣ちゃんのサ克蘭ボのような乳首ちゅうちゅうしたいよね？」

芽衣「すーはー」

ひな「すーはー」

マイクの位置…芽衣 左 0cm

マイクの位置…ひな 右 0cm

芽衣「吸って？」

ひな「吸って？」

マイクの位置…芽衣 左前 0cm

マイクの位置…ひな 右前 0cm

芽衣「あは…あ…ん…キス…してる…おつきいお兄ちゃん…乳首…吸ってるよう

うう、うう…… うう ふうう」

ひな「ん……ひなのおっぱいも……揉まれてる……ふふ……ん……ん」

芽衣「あ……あ……
くすぐった……ん
ん
んふ
ん
ん
ん
ん」

ひな 「んん 乳首の先こりこりしちや…やん やん♡ ん ん んふ」

芽衣 「うう、ぞくぞくする 何これ……何これ ああ 変な感じい うう

はあ
ああ
ああ
！
ん
ん
ん
ん
ふう
！
」

芽衣「あ…は…あ
んふん
んひう！
うう
なんだか芽衣

おまたもじもじしてきて
ん　んふ　ん」

ひな 「お兄さん？ ほら、ひなもひなも吸ってえ？ ひう！ ん ん ん

ふ
あ
は
あ
♡
└─

芽衣「はぁあん！ お尻…もんでる…やだ…こっちはサービスにないようん

ん
ん
ん
ん
ふ
」

ひな「美味しいですか？ あは♡大きなお口で全部たべられちゃった♡ あは♡ ん ん ん」

芽衣「お兄ちゃん…わたしも… は… あ ひなちゃんと同時におっぱい吸われちゃって… ああ やだ！ お尻触っちゃ！ あ♡ あ♡ ん！」

ひな「あは！ ひなもお尻ももみもみされてる！ ん ん 駄目なんだよ？ あは。お尻サンドイッチは食べ終わったんだから は あ あん♡」

ひな「んふ！ ちゅーちゅーって吸うのかわいいかも… ん ん」

芽衣「もう…いいなひなちゃんのおっぱい…お兄ちゃんも大きい方が好き？ ひう！ ん ん！」

ひな「そんなことないよね？ 芽衣ちゃんのおっぱいも好きだよね？ ん んふ… ああ 乳首下で転がされて… ああ」

芽衣「あは… ああ… あ ああ♡ ひなちゃん ひなちゃん… 芽衣 なんかきちゃいそう ああ は ああ 怖いよう」

ひな「んふ♡ 大丈夫ひなちゃん。もっとお兄さんにそのままお尻揉まれて？ おっぱいにちゅーされて？ ん あ あ あ！ ひなも…」

絶頂

芽衣「ん ん ん んー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！ あ… あ… あ… あああ」

ひな「ん ん ん んー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！ ふー ふー ふー！ ふー！」

マイクの位置…芽衣 左前 10cm

震える声で

芽衣「な、何これ…お腹がきゅーんってなって、頭びしって…びしってなった…」

マイクの位置…ひな 右前 10cm

ひな「ふふ、芽衣ちゃんいっちゃったんだ」

芽衣「いく？ いくってなあに？」

ひな「ものすつごく気持ちよくなった時になるんだよ？ ふふ、ひなもちよ
つとなっちゃった」

芽衣「そ、そうなの…なんだかすごかった…ふみゆー」

#シーン7 お風呂で3P! おふえら

マイクの位置..芽衣 左前 30cm

マイクの位置..ひな 右前 30cm

ひな「めいちゃん? ちよつとお耳かしてー? …でね うん そ それか
らん」

芽衣「ふん ふん …え? えええ? そんなことしていいの? ばっちく
ない?」

ひな「多分お兄さん喜んでくれるよ?」

芽衣「う、ちよつと聞いてみる」

マイクの位置..芽衣 左 0cm

芽衣「お兄ちゃん…その…」

無声のささやき声

芽衣「おちんちん舐めてほしいですか？」

ひな「ふふ、お兄さん、おちんちんさんで返事しましたね。今、びくつてな
ったよ？」

マイクの位置…ひな 右前 30cm

芽衣「し、してほしいんだ…女の子におちんちん舐めてほしいんだ…でもど
うやるのー？」

ひな「んー アイスクャンディーみたいに舐めればいいんじゃないかな」

マイクの位置…ひな ふえらの高さ 左3cm

ひな「じゃあお兄さん？ 椅子に座ってー おまた開いてくださーい。くす
くす。大人がこんなにどうどうと女の子におちんちん見せちゃっていいんで
すか？」

マイクの位置…芽衣 ふえらの高さ 右3cm

芽衣「うわー す、すごい眺めー。お兄ちゃん女の子におまた開いておちんちんさん見せつけちゃってるー」

ひな「じゃあいくよ… 芽衣ちゃん 一緒に」

芽衣「う、うん すーはー すーはー よーし！」

ひな「おちんちんさんにー ちゅ」

芽衣「おちんちんさんにー ちゅ」

芽衣「わ！ 唇がおちんちんと一緒にぶるんってなった」

ひな「ふふ、先端にちゅーしただけですごいね」

ひな「芽衣ちゃん？ こうやって舌を出してー べーー」

芽衣「こーう？ れーーー」

ひな「亀さんにー れーろれーろれうれうれう」

芽衣「わ、わ！ ひなちゃんの舌が亀さんぺろぺろ舐めてる…」

ひな「芽衣ちゃんもー れうれうれーうれう」

芽衣「う、うん。れーーうれうれうれうちう ちゆ ちう」

ひな「このくびれのところをー 舌でええええってなぞってー」

芽衣「んーちゆ れう ちう ちう ひなちゃんとまたちゆーしちやつてる

…れえうれうれうちう」

ひな「お兄さんのおちんちんさんと芽衣ちゃんできゅー♡ ちう ちうれ

うちうんーちゆ」

芽衣「亀さんとひなちゃんできゅ…ちう んーちゆ ちう ちうちゆ ちう

ちゆう！」

ひな「くびれのところ唇であむあむあむーって嚙んであげるね♡ はーむは
ーむ♡ あむあむ ん ん ん ん」

芽衣「芽衣もくびれさんところと唇であーむあむ。んーちゅ ちう ちゅう
う♡ んふ」

ひな「ふふ、ぐみみたいで面白いね芽衣ちゃん。あーむあむ ちゅ ちう
れうれうちゅちう」

芽衣「むふー 面白ーい…ちゅ ちうれーう ちう ちゅ♡ お兄ちゃんび
くんびくんしてる…これって嬉しいんだよね？ ちゅ ちう ちゅ♡」

ひな「こうやって、竿のところを握って…しこしこしながら先っぽ舐めてあ
げるね」

芽衣「芽衣もおちんちんさんぎゅー しこしこ しこしこ んーちゅ ちう
れう ちう ちう」

ひな「みてて芽衣ちゃん。唇でくびれのところを挟んでー あむあむ 横に
擦るの あむあむれうちゅう」

芽衣「わ、わ、凄い反応。芽衣もくびれを唇で挟んであむあむしてあげるー
あむあむ あむあむ れうれうちゅう」

ひな「れうれう れーう ちう ちゅちう♡ んふ♡ いきそうな時言つて
ね？ れーつちゅ ちうちう♡」

芽衣「いきそうなときは早くしこしこするんだよね？ れーつちう ちゅ
ちうちゅ ちう れう ちゅ」

ひな「先っぽ全体を口に含んで ちゅ♡ ちゅ ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ♡
ちう」

芽衣「竿のところを、れろれろれーろ れう れう ちゅ♡ ちう♡ ちゅ
♡」

ひな「ん？ ふふわかった。しこしこしこしこしこしこしこしこしこ ちゅちう
ちゅつちうちうちう」

芽衣 「またせーしでるんだー！ しこしこしこしこしこしこしこしこしこしこちゅ
ちうちうちうちゅちうちう」

射精

ひな 「んふ——！？」 ちうじる ちう ちゆ ちう！ ちう！ ごほ！
けふ！ ごほ！ ごほ！」

芽衣「わ、わ、ひなちゃん大丈夫!？」

ひな「けふ、けふ…ん。すつごい勢いで出るんだもん。見て芽衣ちゃん。あ

芽衣「わ、わ。ひなちゃんのお口の中……せーしてまっしろでどろどろっただ

ひな 「んーこくこく ちう ちゆ」

芽衣 「わ、わあ！？ 飲んじやったの？ 飲んじやったの！？」

ひな「んーー　うえ　…変な味ー」

ひな「芽衣ちゃんにもおすそ分けー　お口開けてー？　れーうちうちゅちゅちゅちゅ♡」

芽衣「むぐう！？　ひ、ひなちゃん！？　ちゅういちゅ　ちゅ　ちゅ　ちゅ
ちゅ」

芽衣「う、うえー　変な味ー」

ひな「でしょー」

芽衣「もうー　くすくすくすくす」

ひな「くすくすくすくす」

#シーン8 お風呂で3P 本番！

マイクの位置…ひな 左前 30cm

ひな「ねーえ…お兄さん…えつとね」

マイクの位置…ひな 右前 30cm

芽衣「ひなちゃん、どうしたの？」

ひな「私も…その…さつきからおまたむずむずして… お膝かしてもらっていいですか」

マイクの位置…ひな 左前 0cm に移動しながら

ひな「かり…るね…んふ♡ お兄さんのお膝の上…またがっちゃった…あん

♡」

マイクの位置…ひな 左 0cm に移動しながら

ささやき声

ひな「私のおまた感じますか？ まだ何も生えていないおまた。ぷにぷにでしょ？」

マイクの位置…ひな キス

ひな「ちゅー♡ れう ちう ちゅ ちう♡ ちゅ ちう」

芽衣「ひ、ひなちゃん。あ、あ、お兄ちゃんのお膝の上で…おまたずりずりっしててる。ひなちゃんのお尻がびくびくしてるよう」

ひな「そ… んふ♡おにーさんのお膝かりてオナニーしてるの ん… ん… ん… ちゅ♡」

ひな「こうやってお尻をえんをえくようにするとー ん んふ おまたが擦れて あは とっても気持ちいいの ん ん んん。んふ」

マイクの位置…芽衣 キス 右3cm に移動しながら

芽衣「め、芽衣も… 芽衣もする！ お兄ちゃん！ ちゅーっ ちゅ ちゅ ちゅ♡」

マイクの位置…ひな キス 左3dm

ひな「ん、♡人でしょーね♡ ちゅ ちゅ んふ ちゅ ちゅ」

芽衣「ん ん ん… はぁ！ 本当だ…おまた擦れて…きもちいいよう ん ん へう れう ちゅ ちゅ」

ひな「小さな女の子がおにーさんの身体をつかってオナニーしてるんですよ？ ん ん とめなくていいんですか？」

芽衣「はふう はうう。お兄ちゃん。お兄ちゃん。れう ちゅ ちゅ ちゅ うう♡ これ…これ！ おまた気持ちいい…気持ちいいよう」

ひな「れう…ちゅ ちゅ ちゅ ちゅ ちゅ♡ れう ちゅ ちゅ ちゅ ちゅ ちゅ ちゅ」

芽衣「ん ん ん♡ ちゅ ちゅ れう ちゅ ちゅ ちゅ ちゅ ちゅ ちゅ」

ひな「気持ちいいね芽衣ちゃん はあ はあ はあ ちゅ ちう ちう ちゅ
ゆう ちう あ ああ あはあ！」

芽衣「うん、おまたもちゅーもきもちいいよう！ ちゅちう れう ちゅ
ちう ちゅう！ はあ はあ はあ！」

ひな「おまめさんのとこ、くにくにつて当たつて…あ…ん ん んふ ちゅ
ちう れう ちゅ」

芽衣「ママにここ擦っちゃだめつて怒られたのに…しちやつて…あ…はあ
ああ」

芽衣「芽衣ね…芽衣ね…あ あ さつきみたいに…ちゅ ちう んふ ん
ん ちゅ へう れう」

ひな「芽衣ちゃん…一緒にいこ？ 一緒に行こうね？ んふ ん ん
ん ん あ あ あはあ」

絶頂

ひな「んんんん—————！」

芽衣「あああああ—————！」

マイクの位置…ひな 右odm 耳元

ひな「はあ…はあ…はあ。いっちゃった」

マイクの位置…芽衣 右odm 耳元

芽衣「はあはあはあ… いっちゃったね」

ひな「もう…いっかな…」

芽衣「ど、どうしたの？ ひなちゃん」

ひな「最後までしたくなっちゃった。んふー」

芽衣「最後までって？」

ささやき声

ひな「せつくす…して？」

芽衣「せ…くす？」

ささやき声

ひな「まだ未成熟なおまんこに、お兄さんの大人ちんちん入れたくないですか？ 私のおまたのなか中からぐにぐにつてかき混ぜたくないですか？」

マイクの位置…正面 10cm

ひな「芽衣ちゃん…みてて？ 私のあそこ…ん…こうやって指で広げて…ん あ、すごい広がる…準備できちゃってる…」

ひな「ん…さきつぽ…あ…くぷつて…はああ… おおお… お おお！ くふ！ は 入ったああ…！」

マイクの位置…左前 10cm

芽衣「わ、わ、ひなちゃんのおまたに…わ　わ…」

挿入

ひな「んふふううう！」

ひな「はあ！　はあ！　はあああああ　入っちゃいましたね…ふふ」

マイクの位置…最後にキスの位置

ひな「私もう…興奮しちゃって、あは…ん　ん　ん」

切なそうな声

ひな「おにいさーん…れうちゅちうちう　ん　ん　ん　ん」

芽衣「い、痛くないの？　痛くないの？　ひなちゃん」

ひな「ちよつと痛いけど。んふ。それより体がじんじんして…んん
ん あ…あ やだ、腰が勝手にうごいちやいます！んんんん」

ひな「あ あは あは！芽衣ちゃん…これすつごい…んんん！」

ひな「みてて？ひなのことみてて？芽衣ちゃん あ ああ あああ は

あ！ はあ！ はあ！」

マイクの位置…ひな 左0cm 耳元

ひな「はあ！ はあ！ お兄さんもしかして遠慮してます？ ふふ、私まだ
まだ余裕あります」

ささやき声

ひな「めちやくちやにかき回して？」

早いピストン

ひな「きゃああ！ あ！ あ！ あ！ ああ！ あ！ あ！
あ！ す、すごい！ ああ！ あ！ あ！」

ひな「おまたのなか、強引にぐちゅぐちゅにされるのって、こんな気持ちいいんだ！ あ！ あ！ ああ！ あ！ あ！ あ！」

呆然としながら

芽衣「お・お・おす、すごい。こんなおっきいのひなちゃんの中に……う」

芽衣「わ、私もお兄ちゃんを気持ちよくします！」

マイクの位置…芽衣 右0cm 耳元

芽衣「身体をくっつけてー はーむ！ ちゅ ちうれう ちゅ ちゅ ちゅ
んーちゅ ちゅ♡」

ひな「お兄さん…お兄さん…ん ん ん はあ はあ はあああ」

ひな「お兄さんの方が先に行っちゃいそうですね。んふ。　小さな女の子のおまん子に負けちゃう雑魚のお兄さん！　くすくす」

マイクの位置…正面　揺らぎをお願いいたします

ひな「きゃああ！　お尻つかんでそんな激しくついちゃ　あ！　あ！　あ！
あ！　あ！　ああああ！」

ひな「あああ　ひいいい！　ごめんなさい　ごめんなさい　ごめんなさい
ああ　ああ　ああ！」

ひな「あああ　おくぐりぐりつてされてる！　大人ちんちんで奥ぐりぐり
い！！　はあ！　はあ！　はあ！　はあ！」

ひな「お　お！　お！　お兄さんの身体がこわばって！　あ！　あ！　ひな
のおまんこの事しかもう考えられないんだ　あ！　あ！　あ！　はああ！」

ひな「ん！　ん！　ん！　n！　いくんだ…こんなちっちゃな女の子に赤ち
やんの元出しちゃうんだ！　あ♡　あ♡　そんな事していいんですか　くす

くす 駄目ですよ？ でももう我慢できないんですよ！ はあ！ はあ！ はあ！ 大人なのに大人なのに♡」

ひな「え？ やです！ いやです！ 今やめるなんて！ このまま！ 行かせて下さいよう！ はい！ はい！ 大人ちんちんき、き、気持ちいいですううう！ 気持ちいいからいかせてええええええ！」

芽衣「いっちゃえ…いっちゃえ…ちゅちゅちゅ お兄ちゃんいっちゃえ！！！」

絶頂

ひな「はああ！ あ！ あ！ あ！ あ！ あ！ あああああ！

お、お、お、いいくうつうううう！！！！♡」

ひな「ひつく！ ひ！ ん ん！ んつく ん ん…」

ひな「はー はー はー うー す、凄かった…」

マイクの位置…芽衣 右前 30cm

芽衣「わ…すごい…ひなちゃんのおまたから…せーし…出てる」

マイクの位置…ひな 左前 30cm

ひな「はー はー はー。ふー。ふふ。芽衣ちゃんもしたくなっちゃった？」

芽衣「え、ええええ！ 芽衣は… うう、で、出来るかな…それに。お兄ちゃんのちんちん…小さくなっちゃったよ？」

ひな「お兄さん出来るよね？」

マイクの位置…ひな 左 0cm 耳元

ささやき声

ひな「芽衣ちゃんの中にどぴゅどぴゅって出したいよね？」

マイクの位置…ひな 左前 30cm

ひな「おにいさんできるってー。芽衣ちゃんが、ちゅーしたらすぐおつきくなるとおもうよ」

マイクの位置…芽衣 キス

芽衣「じゃ、じゃあお願いします！　ちゅーう！　ちゅ　ちう　れう　ちゅ　うちう　ん　ん　んふ」

ひな「私はお手伝いー　芽衣ちゃんの上に覆いかぶさって？　そうそう」

マイクの位置…ひな　真後ろ

ひな「おしりをー　れーうちゅ　ちう　ちう」

芽衣「え？　ひなちゃん？　お兄ちゃんのお尻舐めてるのー」

ひな「へへー　れーう　ちう　んーちゅ　ちう　舌かられーーう　上かられーーう」

芽衣「あ… おちんちんさん…おつきくなってきた」

ひな「女の子にお尻舐められておつきくするなんて。やっぱり変態さんですねー れーうれうれう」

芽衣「うう…雑魚のお兄ちゃんのおちんちんなんて怖くないもん…」

芽衣「うううう！ ああああ！ い、いたいかも…ちよつとむりかも、きやん！ ひなちゃん？」

ひな「芽衣ちゃんのおしりもさわさわー ふふ。柔らかくしてあげるねー れうちゅ ちう ちう」

芽衣「や… あ… あ… おまたのちから抜けて あああああ！ くはあああ

ああ！ はいっちやった！ ああああ！」

芽衣「おつきなおちんちん…はいっちやったよおお あ あ あ ああ！」

芽衣「いた、痛い…痛いよう…ちゅーして　ちゅーしてよう！　れうちう
ちゅ　ちゅ　ちう　ちう」

ひな「優しく動いてあげてね？　れうれう　れーう　れう　ちう」

芽衣「んふ！　んふう！　ちゅ　ちゅう　ちゅう！　ん　ん　ん！　痛い…
けど　痛い…けど」

芽衣「ぎゅって抱き着きながらちゅーで我慢でき…る　ん　ちゅ　ちう　ち
ゅ　ちう　ひゃん！　やああ！　ひなちゃんまたお尻ー」

ひな「ふふ、もう少しほぐしてあげるね。芽衣ちゃんお尻弱いね。割目をす
っ　すっ　すっ　すう　お兄さんのお尻をれーうれーうちゅちうちう。たま
たまさん、指で弾いてあげるー　ちゅうれうちゅう」

芽衣「ん　ん　ん　ん！　はあああ！　はあああ！　あ　あ　あ！　あ！
あああ！　ちゅ　ちう　れう　ちゅ　ちゅう」

芽衣「お兄ちゃん…お兄ちゃん！　あ…抜けた…　ふう！　また入ってき
たあ…　あ、また抜けて…　ひう！　入って！　あ！　あ！　これ　中が

中がめくれるううう！ 擦れてるううう！ はあ！ はあん！ あ！ あ！
あ！ え？ ん———— くふう！ えええ？ こんな奥までえ入る
の！？ くふう！ くるし…… あ……また抜いて ああああ！ 入って！
はああ！ 奥とんとんってしてるう とんとんってえ！ あ あ！ あ！
あ！ あ！

芽衣「あ！ あ！ あ！ おちんちんが出たり……入ったり！ 芽衣凄いこ
としてるよう！ ああ！ これが……せつくす……あ！ はあ！ あはああ
ん！ あ！ あ！ ああ！ あ！

芽衣「なにこれ… お腹の中きゅんきゅんして… あ あ はああ！
あ！ あ！ あ！

芽衣「はあああ！ これ！ 気持ちいいんだ！ 気持ちいい！ あああ
あああ！

マイクの位置…芽衣 右 耳元

芽衣「あううう！ 密着して おゝ おゝ おゝ おゝ！ 大人ちん
ちんですぼずぼされてるううう！ あ！ あ！ あ！ あ！

ひな「んふー お兄さんもひなちゃんもお尻ぴくぴくしてるよ？ どうじにもみもみしてあげるー ちゅ ちう れう ちゅ ちう」

芽衣「あああ！ 駄目ひなちゃん！ あ！ あ！ あ！ あ！ あああ！」

芽衣「おまたが おまたが！ ぎゅつぎゅつて勝手に締め付けてるよう！ お兄ちゃんのおちんちんぎゅつぎゅつて離さないよう！」

芽衣「きやうう！ おじんじんで一番おく！ おくううう！ あああ！
あ！ あ！ あ！ あ！ あ！ あ！ あああ！」

芽衣「そこ ぐりぐりしちややだああ あ！ あ！ あ！ あああ！ あ！
あ！」

マイクの位置…芽衣 正面Ocm動きをつけて下さいませ。

芽衣「は！ は！ は！ は！ あ！ あーーーーー！ さつきより
凄いの！ なっちやう！ なっちやう！」

芽衣「はああ！ 芽衣！ 死んじやう！ 死んじやう！ ああああ 怖いよ
う！ どうなるの？ 芽衣どうなるの！？ あ！ あ！ あ！ あ！ はあ
ああん！」

芽衣「怖いからやめてええええ！ お兄ちゃん！ はい！ はいいい！ お
どなぢんぢんには勝てません！ これ以上は怖いいい！ 許るして許してえ
え！ あ！ あ！ あ！ あ！ あ！」

ひな「最後にお尻さん思いつきりちゅーーーう！ ちゅるちうじゅるち
うちう！」

絶頂

芽衣「あ！ あ！ あ！ あ！ あ！ あ！ あーーー！ きやあ
ああああああ！」

クールダウン

芽衣「はあ はあ はあ はあ はあ」

マイクの位置…芽衣 キスの位置

芽衣「あう…キス…ちゅれうれーうちうちゅうちゅうちゅーう」

芽衣「はあ…はあう…う…芽衣、もうだめ…限界…ばたんきゅー」

ひな「芽衣ちゃん大丈夫？ あれ？ お兄さんも…やりすぎちゃったかな」

#シーン10 えびろーぐ！

シーン：店内

SE:店内の BGM

マイクの位置：芽衣 右前30cm

芽衣「はい、お会計になりまーす」

SE:レジを打つ音

芽衣「げ、うわ、こんな値段になるんだ。これ払える？」

マイクの位置：ひな 左前 30cm

ひな「ひーふーみー…わー ゼロがいっぱいー 大丈夫？お兄さん」

芽衣「うーん、払えないなら…つけどく？」

芽衣「わ、すげ。はい、こちらおつりでーす！」

マイクの位置：ひな 左 0cm

ささやき声

ひな「ふふー 次は別のメニューもお願いしますね」

マイクの位置：芽衣 右 0cm

ささやき声

芽衣「ぷー こんどは負けないんだからね」

マイクの位置：ひな 左前 30 cm

マイクの位置：芽衣 右前 30 c m

ひな「それじゃあ、お兄さん。ありがとうございました」

芽衣「お兄ちゃんありがとうございました」

ひな「またきてくださいね」

芽衣「またきてねー 絶対だよー！ お兄ちゃん！」

#シーン11 後日譚 ひなと芽衣の淫紋

マイクの位置：ひな 正面右30cm

ひな「あ、おにいさーんいらっしやーい」

マイクの位置：芽衣 正面左30cm

芽衣「お兄ちゃんいらっしやい！」

ひな「ちょっとこっちきてー？ VIP ルームはいりまーす！」

芽衣「VIP ルーム入りまーす！」

ひな「…ん、もう…いいからくるのー」

芽衣「やなの？ おにいちゃん？(悲しそうに) …へへ(嬉しそうに)、やっ
た。いこいこー」

SE：VIP ルームの音

ひな「へーどう？ お兄さん。気がつかない？」

芽衣「あてたら…VIP ルーム料金ただにしてあげる」

ひな「5…4…3…2…1…」

芽衣「0！ ふふー 時間切れです」

ひな「答えはー」

マイクの位置…右0cm ささやき声

ひな「淫紋です」

マイクの位置…左0cm

芽衣「淫紋です」

マイクの位置…右前30cm

ひな「え？　ずるいー？　そんなの解るわけ無い？　ふーん。いいのー？
見たくないのー？」

芽衣「折角準備したのにー　ぶー」

ひな「ふふ。そうそうみたいよね…」

芽衣「へへー」

ひな「ん…いいよ…めくって？」

芽衣「わ、私も」

ひな「ふふ、二人の女の子のスカートと同時にまくり上げるなんて…」

芽衣「うわ…うわ…なんだか…すっごくはずかしい…あ…みえ…ちやう…あ…あ…」

ひな「ふふ…どう？　かわいいでしょ？　女の子のお腹にえっちな模様」

芽衣「うう…見てる…見てる…どうかな？　可愛い？　お店の他の人には内緒だよ？」

ひな「おにいさんのためだけの特別サービスなんだからね」

マイクの位置…右前30cm　上30cm　お腹をマイクの位置に移動しながら

ひな「え…やだ…そんなに近づいて見ちゃ…きゃ！　ちよっとおにいちゃんいきくすぐりたい…あはは…きゃ…あ…んんん！　ちよっとおお。ちゅーしていいなんていってない！」

マイクの位置…左前30cm　上30cm　お腹をマイクの位置に

芽衣「わ…わ…ひな…ちゃんの淫紋に直接ちゅー…してる。きゃああ！　わ、私にも？　もう！　もう！　そこは後のご褒美にしようってひなちゃんと…あ…あん…あ…あ…はあああああ(うつとりした吐息)」

ひな「はあああ♡　淫紋にちゅー…いいかも…お腹のマーク嬉しそうに期するお兄さんうれしそう。ああ…は…はあ…は…は…はああ…あ」

マイクの位置…左前30cm 高さを耳の位置に

芽衣「ん？ あれ？ おしまい？」

マイクの位置…右前30cm 高さを耳の位置に 途中でお腹に指を這わせられる

ひな「ぶー ちよつとー 終わっていいなんていつてなーい…あ…はぁ♡」

マイクの位置…左前30cm

芽衣「お兄ちゃん…お腹に…はぁあ…指…ん…ん…え…淫紋より…さらに…したに…あああそこは…」

マイクの位置…右0cm

ひな「お兄さん…それ以上下は…パンツ…ん♡ 指が中…に♡ んんんん！」

マイクの位置…左0cm

〔敏感なところを触れられて思わず声が出る芽衣〕

芽衣「あ…あ…！ はあああああ！ お兄ちゃん！ そこもう少し下で…」

芽衣「ああああ！ お豆ええええ！ そこお豆めえええええ」

ひな「芽衣ちゃん…こつちもお豆…きた…あ♡ あ♡ つままれてハートはあ
あああ♡」

ひな「これ人差し指と薬指で挟まれて…中指でお豆こすられて…んんんっ！
はあああ！ つんつんって ああああ！」

芽衣「ひいいい！ ひいいい！ 芽衣も同じことされてる！ あああ！
お豆！ お豆痺れるううう！ ひいいい！」

感じながらの耳舐め

ひな「お、おかえし！ れーうちゅじるちゅるちーう！ ちゅーん！
ん！ ん！ はあああ♡ れうちゅうじる♡」

芽衣「あ…あ…はあああ…あああお兄ちゃんの指が…あ…中…に…くふううう
う」

ひな「芽衣ちゃん？　だめ、ちゃんとやり返して？　れーうちゆるちゆるち
ううう」

芽衣「そ、そんな事言われたって…ああああ！　お指なかにはいちゃったあ
あああ！」

ひな「こーら芽衣ちゃんいじめるなー　れううちゆる…ーちゅ…奥の奥まで
れええええ…そして下を回転れうれうれう…んんふふう！　私もお
兄さんの指が中…あ♡　あ♡　こすられて…外からも　中からも♡　あ♡
あ♡」

芽衣「ふー！　ふー…！　ううう！　おかえし！　れーうちゅうちう…ち
うちゆる…んちうちうちう！　ん！　ん！　ん！　はああああ♡　舐めれば
舐めるほどお兄ちゃん何激してくるよう♡　ああああ！　れええええええ
え…負けない！　舌を奥に入れてん！ん！ん！ん！　ちうじゆるちうちうじ
ゆる」

ひな「ん！ ん！ ん！ れうちゆるちう！ いけ！ いけ！ おいっちゃ
えええ！ 耳舐めだけでいかせちゃうんだからあ！ れうちゅうつううれ
う！ ん！ ん！ ん！ ん！」

芽衣「あああ♡ だめ…だめ…ひなちゃん…芽衣もう…れうちゅうつう♡ あ
あああ♡ ちゅ…れい…ちゅる…ちう」

ひな「芽衣ちゃんもうちよつとだけ頑張つて？ 耳たぶあむあむー はああ
む…はああむ…舌で耳たぶつつーれええええ… ちゅ…ちう かみかみか
み」

芽衣「ん！ ん！ まけな…い 芽衣も耳たぶかみかみします！ かみかみ
かみかみ あむまうあむあむ…耳ひだれうれうちゅちゅちゅる！ きや
う！ おほおお♡ 中で芽衣の弱いところすられて ほおお♡ あああ
あ！ あむじゆるちうちうち♡」

マイクの位置…ひなキスの位置に移動しながら

芽衣「ひーきーわーけ！」

ひな「うーん…予定通りじゃ無かったけど。まいっか」

芽衣「あ…」

ひな「どうしたの？芽衣ちゃん」

芽衣「うう…おぱんつ…ぐちよぐちよ…気持ち悪い」

ひな「あー　そういえば…ひなもー」

芽衣「お風呂ちよつと入ってくる」

ひな「ひなもー　入るー。それじゃあお兄さん」

芽衣「お風呂からあがったら」

マイクの位置…右0cmささやき声

ひな「続きしようね…うふふふ」

マイクの位置…芽衣　キス

芽衣「待っててね。んーちゅ」

マイクの地位…ひな　キス

ひな「待っててね。んーちゅ」

#ボーナストラック 芽衣ちゃんのべろちゅーてこき

SE:店内の音

マイクの位置：正面50cm から0cm にかけてあります。おっとつとは転けそう
になっています

芽衣「あーおにいちちゃん！ おっとつと…いらっしやーい！」

マイクの位置：右0cm 耳元ささやき声

芽衣「今日もー 芽衣を指名してくれるんだよね？」

マイクの位置：正面30cm

芽衣「むふー じゃあ席でまってるね」

SE：店内の音

マイクの位置：正面30cm から10cm 椅子から膝に

芽衣「おまたせーお兄ちゃん！ よつと。お膝に座っちゃった。えへへー」

マイクの位置…右0cm

ささやき声

芽衣「えつとね…ごめーんひなちゃん今日お休みー」

自信なさげに

芽衣「芽衣だけじゃやだ？」

マイクの位置…正面10cm

芽衣「むふーよかった」

マイクの位置…正面10cm から後ろを向いてい遠ざかる

芽衣「あ、膝から降りるね。ちよつとまっててねー 店長ー 店長ー！」

マイクの位置：正面10cm

芽衣「これポイント貯まったからサービスのコーヒー。むふー」

コーヒーを飲んでいる間。……は呼吸音で間を作ってください

芽衣「ふんふんふん……美味し？ ふふ……」

小声で

芽衣「ひなちゃんの言うとおり……本当に飲ませちゃった」

芽衣「な、なんでもありません！ 怪しくないから早く飲んで！」

芽衣「え… いきなりVIPルーム…？ も、もうー お兄ちゃんのえっち」

マイクの位置：右0cm ささやき声

芽衣「いいよ…いいっか」

SE：VIP ルーム

マイク意義：左10cm 隣に座る

芽衣「へー。ねーえ。どうするー？ 何するー？」

芽衣「ほえ？ ビンタコース？ こんなのがいいの？」

芽衣「うーんやったことないけど……じゃあいくね」

SE：ビンタの音

芽衣「えい」

SE：ビンタの音

芽衣「えい」

芽衣「叩かれるの気持ちいいの？ ふーん。むふー」

SE：ビントの音

芽衣「こんな女の子に」

SE：ビントの音

芽衣「顔はたかれて」

SE：ビントの音

芽衣「気持ちいいなんて」

SE：ビントの音

芽衣「ひなちゃんの言ってたとおりで変態なんだあお兄ちゃん はあ♡ は

あはあ」

SE：ビントの音

芽衣「もう一回！」

SE：ビンタの音

芽衣「てい！」

SE：ビンタの音

芽衣「どう？ 満足した？」

芽衣「もっとして欲しい？ だーめ♡」

マイクの位置：左0cm

芽衣「あれから一杯勉強したんだからね…特別VIPお任せコースしちゃーい
まーす」

芽衣「すーはー すーはー よーしいつくぞー」

マイクの位置：正面0cm

芽衣「むふー。んーちゅーう。ちゅ。ふふ。ほっぺにちゅ」

芽衣「ほう…唇のうえに…触れるだけのキス…ちゅ…ん」

マイクの位置…唇左

芽衣「横にチュ…ん…ふちゅ…ちゅん…ちゅ」

マイクの位置…唇右

芽衣「こっちにも…ちゅ…ちゅちう…ちゅ…んーちゅ」

マイクの位置…前0cm 揺らぎをつけて

芽衣「ふー。唇近い… どうしたいの教えて？お兄ちゃん…」

マイクの位置…キス

芽衣「むふー はい。よく言えました。べろちゅーしちゃいます。んー
ーちゅ。ちゅ。れーうちゅ…ちうちゆる…ちう…れうちゆるちうん
…ん…ちゅ…ちう」

芽衣「…もう…この間はあるに私のことめちやくちやにたくせにい…恥ず
かしがらずに舌だしてー そうそう。ご褒美に食べちゃいます♡ れーう
ちゅーう♡ れうちゅう♡ ちゆる♡ れーう んふ…♡」

芽衣「え…と…こころへんかな…ちゅーしてるからよく見えない…んしよ…ん
つしよ…あつた♡」

SE:チャックを下ろす音

マイクの位置：左0cm。ささやき声

芽衣「特別VIP コース♡べろちゅーてこきしてあげるね」

マイクの位置：0cmキス

芽衣「あーむ♡　ちゅ…ちう　れう…ちゅ　ちう…ちゅ。んふ…パンツの上からすつごくおつきいよ♡おにいちやん…れう…んちゅ♡　ちゅ…ちゅう　ちゅる」

芽衣「ぎゅってパンツの上からにぎるとー　きや♡　んふ♡　お兄ちゃんすつごい力はいってる♡　このままー　れーうちゅーる　ちゅる…ちう…れう…ちゅう…れう　ちゅー♡　ちゅる…ちう」

芽衣「ふふ…芽衣のちっちゃなお口…お兄ちゃんの涎でべたべた…へう…ちゅ…つう…ちゅる…れう…ん…ん…おちんちんさんを…パンツの上から…ん…ふう♡ぎゅ♡ぎゅ♡ぎゅ♡」

芽衣「ぎゅっ♡ぎゅっ♡ぎゅっ♡ぎゅっ♡　んふ　ちゅ…れーうちゅる…ちう…ちゅ　はあ　はあ　れう…ちゅ　ちう　お兄ちゃん…お顔だらしない…ふ　ちゅ…ちゅ　れーう　ちゅる　ちゅ♡」

芽衣「んーちゅ…ちう…ちゅう…れう…ちゅ…んちゅ…ちゅ」

マイクの位置…左0cm　最初は吐息　無声のささやき声

芽衣「は は は あ… おちんちん…出すね ん…ん…むずかし…ここから…」

芽衣「きゃっ！ でた！ …う …う うわあ… おちんちんだあ… 何度見ても…不思議な形 こうして…じつと見ると…先っぽが亀さんみたいで…くびれて… 血管もういているんだ…」

無声のささやき声

芽衣「それじゃあ直接触るね」

マイクの位置…キスの位置

芽衣「んーちゅ…ほう… あ…ん… さわっちゃった…」

芽衣「先っぽ…やっぱりぐにっとしてる…ん そこから膨れてきのこの端っこみたいなところ…ここもぐにつて…はあ はあ はあ あ、お兄ちゃん…この端っこいいの？ 芽衣の指でぐにぐにつてしてあげるね？」

芽衣「ぐにぐにぐにぐにれーうちゆる…ちゆる…ちう…ちゆる…れう ちゆる」

芽衣「れーう…ちゆ…ちうちう…んちゆ。ふー〔鼻息〕 ふー ちゆるちう ぐにぐにぐにぐに…は…いいんだ…お兄ちゃんここぐにぐにつて…にいいんだ…れうちゆるちうちゆる」

芽衣「あ…芽衣の手…ぬるぬるって…お兄ちゃん…れう…ちゆちう…ちゆる…ちう…ちゆるちうちゆう…ん…このまま…竿のところまで ぎゆ…ぎゆ…ぎゆ…ぎゆゆ」

芽衣「どう？ どう？ 気持ちいい？ れーうちゆちゆちゆ…へうちゆ…つう…ぎゆ…ぎゆ…ぎゆ…ぎゆ」

芽衣「練習したんだから…これぐらいの力加減で…じょうげに…しこしこしこしこ…お兄ちゃんのおちんちんからでたぬるぬるで…すべる…」

マイクの位置…下50cm荷移動しながら

芽衣「ちよつとまってね…れえええええ。ふふ芽衣の唾液のローションたしちやいます」

マイクの位置…キス

芽衣「準備万端…しこしこしこしこちゅ…れーつちゅ…ちゅちゅる…んーんちゅ」

芽衣「…すごい…すべる…ん　手を上下にする度に…はあああ。兄ちゃんが…もう…もう…れうちゅるちゅるちう…しこしこしこしこ…ちゅるちうれうちゅ…はあ　しこしこしこしこし」

マイクの位置…右ささやき声

芽衣「…両手でしこしこしてあげる」

マイクの位置…キス

1秒に2回ぐらゐの

芽衣「れうちゆるいちうちう…しこしこしこしこしこしこしこしこし」

芽衣「んふ(鼻息) ちゅーうちゆりう…ちう しこしこしこしこしこしこしこしこしこしこし」

芽衣「ん…ん…ちゅ…れう…ちゅじゆる…じゆるじゆる え? いきぞ? え
ーと…どうすればいい? 速く こう こう?」

一秒に3回から4回ぐよいの

芽衣「しこしこしこしこしこしこしこしこしこしこしこしこしこしこしこしこし
ん ちゅちうれうちゅじうちゆるちうちゅつうううう! しこしこ
しこしこ ん! ん! ん! ん! んんん!」

芽衣「あ…あ…あはあ! 芽衣も…芽衣も! ちゅ…じるちうちゅちゅ…ちゅつ
うちゅちう! はっ! はっ! はっ! はう! んんんんん! ちゅ
ううううううううううう きゃっ!」

マイクの位置…正面30cm

芽衣「わ……わ……すごい……わ……すっごいでてる……きやつ！　またでた！　え・
もう少しこするの？　こう？　こう？　しししししししししし」

芽衣「ん！　すご……また……でた……は……はあ……」

芽衣「はー
はー
はー
はー」

マイク的位置..適度に動きをつけてください

芽衣「あー！ー！ー！ お兄ちゃんー！ またー！ もう飛ばしすぎー！ このメイド服おろしたてなのにー！ きやつ！ こんなところにもついてるー！」

#ボーナストラック

マイクの位置…正面。荒々しいシーンなので左右に動きをツケながら

芽衣「え？ きゃあ お兄ちゃん！？？ ああ！ やああ乳首いい！ か
んじやだめ乳首いい！ 千切れちゃ ああああ！」

芽衣「ひい！ ひい！ 今度はぺろぺろお！ ふいいつ ふううつう！ だ
め だめ… だめえ！ お尻そんなぎゅつとつかんだら痛いいい！」

芽衣「怖い！ 怖い！ ああああ！ コーヒーに入れたお薬のせい？ ふえ
え だったら芽衣のせいだあ」

SE:チャックをおろす音

芽衣「え？ え？ もうおつきくなつて」

マイクの位置…フェラ

強引に突っ込まれます

芽衣「むぐううう！？」

芽衣「けふ！ こふ！ お兄ちゃんくるし！ おちんちん芽衣のお口につつ
こんじゃ… ん！ ん！ ん！ ん！ ん！ じゅ じゅる じゅぽ！」

芽衣「ん！ ん！ ん！ ん！ 頭つかんじゃ… じゅぽ！ じゅる じゅ
る じゅる じゅる じゅぽ」

芽衣「すぐいくから我慢してつていわれてもお んんん！ じゅ！ じゅ
じゅぽ！ ん！ ん！ ん！ ん！ けふ！ こふ！ じゅる！ じゅぽ」

芽衣「うううー。お薬飲ませた芽衣のせいだよね…解った…いいから…芽衣の
お口…お兄ちゃんのおちんちんで好きにしていいいから…」

マイクの位置…マイクの位置…右耳元 ささやき声

芽衣「特別だよ」

マイクの位置…フェラの位置

芽衣「はい……あーん。んんんん！　ん！　じゅる　じゅぽ！　じゅる！
じゅる！　じゅる　ジユポ　ん！　ん！　じゅる！　ん！　ん！　ん！　じゅ
ゆ　じゅる！」

芽衣「んんん！　じゅ　じゅる！　じゅる！　じゅぽ　じゅる　じゅる　じゅ
る！　じゅる　じゅる　ん！　ん！　ん！　ん！」

芽衣「お口！　ん！　おちんちんで焼けどしそう！　んんん！　じゅる　じゅ
ぽ！　ほっぺもなかでつかれて！！　んん！　じゅる！　じゅる　じゅ
る！　じゅる　ん！　ん！　ん！　じゅる！　ん！　ん！　じゅぽ　じゅ
ぽ」

芽衣「出たり入ったりする度　じゅる　んん！　お兄ちゃんの息が荒くなっ
て！　んん！　じゅる！　ん！　ん！　んんん！　じゅる　ん！　ん！
ん！　じゅる！　ん！　ん！　じゅぽ　じゅぽ」

芽衣「ふぐ！　ん！　ん！　じゅる！　じゅぽ！　ん！　ん！　じゅぽ！
じゅる！　じゅぽ！」

芽衣「ん！ ん！ ん！！ ん？ ふえ？ いきそう？ ぎゅつと吸えばいいの？」

芽衣「こう？ ちゅーーーーう」

芽衣「う！ じゅる！ じゅぽ じゅぽ ん！ ん！ ん！ ん！ ん！ ん！
ん！

芽衣「じゅる！ じゅぽ！ ん！ ん！ ん！ ん！ ん！ ん！
じゅる！ じゅぽ！ じゅぽ！ んふう！」

最後のピストン

芽衣「んん！ ん！ ん！ ん！ ん！ ん！ ん！ ん！ ん！
ん！ ん！ んん——————！！」

飲む

芽衣「くく…んつく…ぐく… くく… んつく…くく……ぐくく…けふ…けふ」

マイクの位置：正面30cm

芽衣「はー はー はー はー うう…… ぐす…… すん…… ぐす……
な、泣いてないんだからあ！」

芽衣「うう。お口の中くちやい……やっぱり……まじゆい」

マイク：前30cm からキスの位置

芽衣「お返し……れーうじゆるちうちゅちゆる ふはー」

マイクの位置：前10cm

芽衣「美味しくないでしょー？ ベーだ」

しばらく呼吸音の間

芽衣「ふー………は……」

芽衣「ん……えっとねお兄ちゃん」

マイクの位置…右0cm

芽衣「まだ時間あるけど続ける？」

芽衣「むふー」

マイクの位置…左ささやき声

芽衣「えっちー」

ふふうん あ ああ あ… はあ♡ ああ♡ あん ンふん！
あは♡ あは♡ あは♡ ン ン♡ ン

マイクの位置…左 ひな

ひな「あ…ん あは♡ あん ン♡ あ あん♡ ン♡ ン
ふうん ンふう！ ンは！ は！ はあ！ あ… ン ンう ン…
ふふうん あ あ… あ♡ ああ♡ あん ン♡ ン

口嘘喘ぎ 30秒ほど

マイクの位置…芽衣 右 0cm

芽衣「はあはあ…あ…ん…あん…はあ…はあ…あ…あん…あん はあ はあ
はあ はあ はあ あ あん はあ あ あ」

マイクの位置…ひな 左 0cm

ひな「あ…はあ…はあ…はあ…あ…あ…あはあ…はあ…あ…はあ…
はあ はあ あ あ ああん あ はあ♡ はあ♡」

□フェラの演技 30秒ほど

マイクの位置…ひな ふえらの高さ 左3cm

ひな「ちゅ ちう れう ちう んーちゅ ちう ちゅ ちう ちう れー
う ちゅ ちう ちう ちゅーう ちゅ んふ んーちゅ ちう」

マイクの位置…芽衣 ふえらの高さ 右3cm

芽衣「れう ちう ちう れう ちう ん ちゅ ん ん ちう ち
ゅ ちう ちう れーう れう ちゅ ちう ちゅーう ちゅ んふ んーち
ゅ ちう」

□セックスの時の嬌声 30秒ほど

マイクの位置…ひな 正面 揺らぎをお願いいたします

ひな「あ！ はああ ん ん んふ ん ん あ あ はああ あ あ

あああ はああ はあ！ はあ！ あ！ あ！ はあ！ はああ！」

